

# 2014 JDDネットワークセミナー in ながの



医療からの発信

期日：2014年7月27日(日)

主催：日本発達障害ネットワーク

JDD（日本発達障害）ネットワークながの

会場：浅間温泉文化センター（長野県松本市）

《 プログラム 》

【 講 演 】

10:00 ～ 12:15

「臨床医からみた発達障害の診療と連携」

座長 天野直二 前信州大学医学部附属病院院長  
信州大学医学部精神医学教室 教授  
講師 田中康雄 ころとそだちのクリニックむすびめ院長  
北海道大学名誉教授

【 ランチョンセミナー 】

12:15 ～ 13:15

「発達障害診療の最前線～小児から大人まで～」

講師 市川宏伸 日本発達障害ネットワーク理事長  
東京都立小児総合医療センター顧問

【 シンポジウム 】

13:30 ～ 16:30

「ながの発！明日を見据えた発達障害ネットワーク  
～支えあう教育と就労と医療～」

シンポジスト 市川宏伸 日本発達障害ネットワーク理事長  
東京都立小児総合医療センター顧問  
田中康雄 ころとそだちのクリニックむすびめ院長  
北海道大学名誉教授  
本田秀夫 信州大学子どものこころ診療部部長・診療教授  
指定討論者 天野直二 前信州大学医学部附属病院院長  
信州大学医学部精神医学教室 教授  
平林伸一 長野県立こども病院神経小児科 部長  
司会 稲葉雄二 信州大学医学部小児医学教室 准教授

《 目 次 》

1. 2014 JDDネットワークセミナー in ながの 実行委員長あいさつ	4
2. 2014 JDDネットワークセミナー in ながの 副実行委員長あいさつ	5
3. 講 演	7
4. ランチョンセミナー	35
5. シンポジウム	61
シンポジスト 田中 康雄	63
市川 宏伸	74
本田 秀夫	83
指定討論者 天野 直二	94
平林 伸一	99
6. 賛助団体御芳名	109
7. 2014 JDDネットワークセミナー in ながの 実行委員名簿	111

「2014 発達障害ネットワークセミナー in ながの」  
を開催するにあたって

昨年、「発達障害ネットワークながの」が設立されて1年近く経過した。今年度は日本発達障害ネットワークとともに「発達障害ネットワークセミナー in ながの」を開催できるようになったことは喜ばしいことである。

平成16年12月3日に発達障害者支援法が参議院を通過した。その夜に厚生労働省の記者クラブで、「発達障害者支援法がうまく機能して行くのをサポートする」ことを念頭に当事者団体の代表5名と私が参加して記者会見が行われた。日本発達障害ネットワークが成立したのは事実上この日と言ってよいであろう。当初は当事者5団体を中心であったが、現在は19の全国団体と、47のエリア会員が参加してくれている。当事者団体に加え、職能団体、関連学会なども加わり、各団体の会員数を単純に加えると14万人を越えている。理事会には、各団体の推薦者に加え、各分野の代表者も加わり、現在の発達障害の支援を中心的に行っている団体や個人が参加している。また発達障害者の支援をしてくださっている「発達障害者の支援を考える議員連盟」には、約150名の超党派の国会議員の先生方が参加して下さっている。

疫学調査ではないが、文科省の調査では発達障害児は通常学級の6.5%であり、特別支援教育在籍者を加えると約8%になり、全国で約1000万人となる。これらの人が全員支援を必要としていないかもしれないが極めて多数である。また発達障害は連続体であり、濃淡のあるグラデュエーションであり、境界が明確ではない。本人及び周囲が支援を必要とする際には支援を行う必要があり、きめ細かい柔軟な対応が必要である。

日本発達障害ネットワークでは、全国団体、エリア団体と連携した支援に加え、エリア団体を束ねた「発達障害ネットワーク〇〇」と連携した支援を考えている。現在全国に9つの「ネットワーク〇〇」が存在しており、これらを通じて、エリア団体の結束をより密にしたいと考えている。このような状況下で、「発達障害ネットワークながの」と一緒に今回のセミナー開催を出来たことは素晴らしいことであり、今後とも他の「ネットワーク〇〇」とも一緒になって活動を行って行きたい、と考えている。また、関連する長野の方々の努力に感謝したい。

2014年7月

JDDネットワークセミナーin ながの  
実行委員長 市川 宏伸  
(日本発達障害ネットワーク理事長)

「2014 発達障害ネットワークセミナー in ながの」  
を開催するにあたって

本日は、お忙しい中「JDDネットワークセミナー in ながの 医療からの発信」にご参加いただき心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

前々回、前回のセミナーにも大変多くの方々にご参加いただき盛況でしたが、今回のセミナーは更に多くの方々にご参加いただき、改めてこの「JDDネットワークながの」は、皆様一人一人の熱い情熱と暖かいハートに支えられて会の運営が成り立っているのだと実感いたしました。

「JDD（日本発達障害）ネットワークながの」は、「発達障害」をいろいろな立場の方々に広く知ってもらいたい、理解してもらいたい、わかってもらいたい、という強い思いから昨年（2013年）6月に長野県内の様々な立場の有志によって発足いたしました。このような周知活動が広がると、どうでしょうか？少し知ってもらうだけで、少しの変化が起こるように思われます。そして状況が変わることがあるかもしれません。さらにお互いの感情に変化があらわれるかもしれません。周囲の感情が変化するだけで落ち着き、人は優しくなるような気がします。人は優しくなると穏やかになり、誰もが穏やかで過ごしやすい世界になるような気がします。実際、こんな嬉しいスパイラルが私の周りで少しですが起こり始めてきました。最近、「これはいいぞ！」と心の中でガッツポーズをしています。そして、やればやっただけの成果がでるもんだと、だからもっともっと頑張ろうと思いつつ日々仕事をしています。すると現実はまだまだ厳しいものだと思知らされる出来事にぶつかります。そんなに簡単に理解が進むものではないと再認識させられます。そして“継続は力なり”コツコツと時間をかけながら焦らず「発達障害」の啓発に努めていきたいとJDDネットワークの活動に期待するのです。

私の頭の中での「発達障害」のイメージは、とてもとても大きな巨木の木です。この巨木を一周するには時間も体力もかかりますし、大きいのでなかなか反対側を見ることができません。多くの時間を費やさないと全体が見えないかもしれません。「JDDネットワークながの」では、この太い木の幹の様な「発達障害」を多角的にいろいろな見方で提示して啓発を進めたいと考えております、ぜひこれからも継続してセミナー等にご参加いただき全体像を把握していただければ嬉しく思います。

これからも皆様方の更なるご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

2014年7月

JDDネットワークセミナーin ながの  
副実行委員長 新保 文彦  
(JDDネットワークながの代表)